

1 本館

◆一條彰子

「美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修」／『現代の眼』561号
「鑑賞のダイナミズムとは何か？」「鑑賞実践報告」「鑑賞する子どもに寄り添って」／『平成17-19年度科学研究費補助金基盤研究(B)〈知の統合力を育成する鑑賞学習支援システムの開発〉平成18年度報告書』(鳴門教育大学、2007年3月25日)

「美術鑑賞で〈言葉の力〉を伸ばす」／『教育研究』(初等教育研究会、2006年5月1日)

パネリスト／mite! 美術鑑賞教育フォーラム(科研1833019推進プロジェクト、日本写真印刷・淡交社、2006年6月2日)

講演「美術館を活用した新しい鑑賞授業」／学習公開・初等教育研修会(筑波大学附属小学校、2007年2月16日)

講演「美術館を活用した鑑賞教育研修を実施して」／美術館等運営研究協議会(文化庁、会場：国立新美術館、2007年2月26日)

◆大谷省吾

「大正期の自画像の“背景”について」／『モダン・パラダイス』展カタログ

「リアルのためのフィクション」／『リアルのためのフィクション』展カタログ

「鬚光、その眼の向かうところ」／『生誕100年 鬚光展』カタログ

資料紹介「浜田浜雄講演会『私とシュルレアリスム』解題」／『東京国立近代美術館 研究紀要』第11号

「アーティスト・トークの一年を振り返って」／『現代の眼』557号

「吉原治良の新発見作品《朝顔と土蔵》と鈴木三郎」／『現代の眼』558号

「総合芸術への夢：実験工房の舞台作品を中心に」山口勝弘資料データベースの構築について」／『戦後の日本における芸術とテクノロジー』(平成16-18年度科学研究費補助金(基盤研究(B)) 研究成果報告書、2007年3月)

「美術におけるアヴァンギャルド—研究の現況と展望—」／『日本近代文学』74集(日本近代文学会、2006年5月)

「浜田浜雄の戦前の制作—その『二重性』について」／『浜田浜雄展』カタログ(米沢市上杉博物館、2006年9月9日)

「シュルレアリスムと行動主義—小松清、福沢一郎、矢崎博信を中心に」／『近代画説』15号(明治美術学会、2006年12月)

講演「昭和初期とシュルレアリスム 自己を見つめた作家たち」／『夢のなかの自然』展関連講演会(群馬県立館林美術館、2006年10月1日)

◆尾崎正明

コラム「森田恒友」／『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』展カタログ

◆蔵屋美香

「ばらばらになった身体」／『ばらばらになった身体』展カタログ

コラム「岸田劉生 北方ルネサンスから東洋へ」／『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』展カタログ

「ばらばらになった身体」／『現代の眼』559号

所蔵作品展「近代日本の美術」音声ガイド／2007年4月24日導入

Im Innern Außen / Inside Out (Stefan Barmann 訳) *Jonah's Green : Shiro Matsui*, Kerber Verlag, 2006

「建築と美術のあいだ—1930年代から50年代の壁画」／長田謙一・樋田豊郎・森仁史編『近代日本デザイン史』(美学出版、2006年11月)

「近代美術の東京 木村荘八 『墨東綺譚』」／『読売新聞』(都内版、2007年1月12日朝刊)

「近代美術の東京 望月晴朗 『同志山忠の思い出』」／『読売新聞』(都内版、2007年3月9日朝刊)

発表「公共の場の裸体たち—壁画の中の裸体の系譜」／九州大学文学部芸術学研究室・九州大学P&P研究会(九州大学、2007年2月27日)

◆鈴木勝雄

「モネの《睡蓮》：浮遊するイメージの光学」「線の凶器、絵画の傷跡」／『モダン・パラダイス』展カタログ

翻訳／スーザン・タイラー・ヒッチコック著『美の20世紀(4)ミロ』(二玄社、2006年10月31日発行)

「近代美術の東京 古賀春江 『海』」／『読売新聞』(都内版、2006年9月8日朝刊)

◆都築千重子

コラム「油絵における日本画的な画題」梅原龍三郎と日本画材「川端龍子」／『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』展カタログ

「近代美術の東京 織田一磨 画集新宿より『ほていやから三越遠望』」／『読売新聞』(都内版、2006年5月12日朝刊)

「近代美術の東京 小泉癸巳男 『昭和大東京百図絵』より『聖橋』」／『読売新聞』(都内版、2006年10月13日朝刊)

講演「谷中安規の世界」／(財)平野政吉美術館(主催・会場：平野政吉美術館、2006年10月14日)

◆鶴見香織

コラム「西洋を描いた日本画家」、作家解説、作品解説／『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』展カタログ

「都路華香展」／『新美術新聞』No.1110(新美術出版社、2007年2月1日) 作家解説、作品解説／『群馬県立近代美術館所蔵戸方庵井上コレクション 名品展』カタログ(板橋区立美術館、2006年11月)

◆中林和雄

「モダン・パラダイス—出口について」、各章解説／『モダン・パラダイス』展カタログ

「萬鉄五郎と垂直性」／『現代の眼』562号

展評「赤塚祐二展」／『REAR』no.13(2006、リア制作室)

「序文」／『依藤奈奈展』ギャラリー山口、2006年4月

「近代美術の東京 萬鉄五郎『小石川風景』」／『読売新聞』(都内版、2006年6月9日朝刊)

◆中村麗子

コラム「下村観山の和洋折衷」「竹内栖鳳の西洋体験」、作家解説、作品解説／『揺らぐ近代 日本画と洋画のはざまに』展カタログ

「平成一七年度の新収蔵作品(美術作品)について」／『現代の眼』557号

所蔵作品展「近代日本の美術」音声ガイド／2007年4月24日導入

「小林古徑の渡欧体験 再考」／河野元昭先生退官記念論文集編集委員会

編『美術史家、大いに笑う 河野元昭先生のための日本美術史論集』(ブリュッケ、2006年4月)
「近代美術の東京 小林古径 『加賀齋』」／『読売新聞』(都内版、2006年12月15日朝刊)

◆保坂健二郎

「鳥の声、身体記憶」／『美術手帖』882号(美術出版社、2006年6月)
「トランジットとアート 相対性こそ我が楽しみ」／『すばる』(集英社、2006年7月)
「パロックな『オレの王国』でうふふ」／『すばる』(集英社、2006年10月)
「快走老人録! 活力の耕作者たち」／『美術手帖』888号(美術出版社、2006年11月)
「アンチ・カタルシス」／『すばる』(集英社、2006年11月)
翻訳／フィリップ・プロフィ著「プリズマティック・ジャパン 日本の現代美術についてのいくつかの視点」／『Rapt! 20 contemporary artists from Japan』(国際交流基金、2006年9月1日)

◆増田 玲

「臨界をめぐる6つの試論」作家インタビュー(伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一)／『写真の現在3 臨界をめぐる6つの試論』展カタログ
「平成一七年度の新収蔵作品(美術作品)について」／『現代の眼』557号
「ベン・シャーンの写真—イメージの起点に立つ画家」／『グラフィカ』2号(ガレリアQ、2006年6月)
「近代美術の東京 東松照明 『アスファルト』より」／『読売新聞』(都内版、2006年7月14日朝刊)

◆松本 透

「作品解説」／『生誕100年 巒光展』カタログ
「吉原治良の円環」／『現代の眼』557号
「光の芸術の可能性—倉重光則の場合」／『戦後の日本における芸術とテクノロジー』(平成16-18年度科学研究費補助金(基盤研究(B)) 研究成果報告書、2007年3月)
「キュビズムに対するアジア的答え(インタビュー)」／『wolgansmisool』No.253 (ハンダ語掲載、2006年2月号、ソウル)
「生誕100年 吉原治良展」／『新美術新聞』No.1092 (新美術出版社、2006年7月1日)
「旋回する視覚—湯川雅紀の新作」／『湯川雅紀展』(カスヤの森現代美術館、2006年7月)
発表「同時代美術の『同時代性』について」／『21世紀芸術の新しいパラダイム』(主催:韓国・現代美術学会、会場:ソウル・梨花女子大学、2006年11月11日)

◆水谷長志

「アート・アーカイヴ再考—外なる/内なる>二つのトライアングルをめぐって」／『戦後の日本における芸術とテクノロジー』(平成16-18年度科学研究費補助金(基盤研究(B)) 研究成果報告書、2007年3月)
「美術館・博物館専門職と情報専門職」／『図書館情報学のフロンティア第6集 図書館情報専門職のあり方とその養成』(勉誠出版、2006年10月)

Brief history and cooperative scheme of art museum libraries in Japan today: Centering on 'exhibition catalogs' - art librarians' most valuable materials / *IFLA Art Libraries Section Newsletter*, no.59, 2006. p. 3-7. (<http://www.ifla.org/VII/s30/news/art-newsletter59.pdf>)

「美術館図書室の過去・現在・未来—ALCへの道のりを振り返って」／『専門図書館』(第219号、専門図書館協議会、2006年9月)

共訳・解題「美術館の中の小さな図書室で働くということ」／『アート・ドキュメンテーション研究』(第14号、アート・ドキュメンテーション学会、2007年3月)

発表「美術館の情報と資料の共有をめぐる一近過去と近未来のはざま」／2005年度慶應義塾学事振興資金による研究課題「貴重な資料のデジタルアーカイブの構築手法とメタデータの標準化についての実践的研究」研究会(慶應義塾大学三田キャンパス新図書館地下1階AVホール、2006年4月26日)

発表「美術館図書室の過去・現在・未来—ALCへの道のりを振り返って」／専門図書館協議会平成18年度全国研究集会第5分科会(日本科学未来館、2006年6月23日)

発表「美術館・博物館・公文書館・図書館の連携」／デジタルアーカイブシンポジウム:美術館・博物館・公文書館・図書館の連携について／2006年度慶應義塾学事振興資金による研究課題「連携と相互運用性確保へ向けたデジタルアーカイブモデルの研究」研究会(慶應義塾大学三田キャンパス東館8階ホール、2006年11月17日)

発表「Web公開型デジタル・ミュージアムの試み:独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システム <http://search.artmuseums.go.jp/>について」／文部科学省デジタルミュージアム研究会(文部科学省、2006年2月27日)

◆三輪健仁

「持続/切断」／『持続/切断』展カタログ
「ポスト・ミニマリズムにおけるメディアム」／『東京国立近代美術館研究紀要』第11号
「毛利武士—素材の変貌」／『現代の眼』558号
「近代美術の東京 安井曾太郎 『金蓉』」／『読売新聞』(都内版、2006年11月10日朝刊)

◆竹内万里子

「作家インタビュー(伊奈英次、小野規、浅田暢夫、北野謙、鈴木崇、向後兼一)」／『写真の現在3 臨界をめぐる6つの試論』展カタログ
「近代と写真的知覚 スティーグリッツとシュトゥルートの作品から」／『現代の眼』559号

◆荒木 和

編集「アーティスト・トークの一年を振り返って」／『現代の眼』557号
構成「2006年のアーティスト・トークから—池田良二・村岡三郎・丸山直文・鷲見和紀郎」／『現代の眼』562号

◆白濱恵里子

執筆・編集『モダン・パラダイス展こどもセルフガイド』
「モダン・パラダイス展 夏休み!こども美術館」／『現代の眼』561号
「海外美術館視察報告」／『平成17-19年度科学研究費補助金基盤研究(B)

〈知の統合力を育成する鑑賞学習支援システムの開発〉平成18年度報告書
(鳴門教育大学、2007年3月25日)

2 工芸館

◆今井陽子

「佐々木苑子論」および作品解説／『週刊朝日百科 週刊人間国宝 工芸技術染織②』(朝日新聞社、2006年6月11日号)

「堀柳女論」／『週刊人間国宝 工芸技術 人形①』(朝日新聞社、2006年7月2日号)

「喜多川平朗・俵二論」および作品解説／『週刊朝日百科 週刊人間国宝 工芸技術 染織⑥』(朝日新聞社、2007年1月21日号)

「きものもよう—伊砂利彦の型染」／『現代の眼』559号

「横・中・外—陶芸をめぐる幾つかの視点」／『やきものの美—東京国立近代美術館工芸館名品展』(倉敷市立美術館・はつかいち美術ギャラリー)

作家解説／『ジュエリーの今：変貌のオブジェ』展カタログ

「たんけん！こども工芸館『鬼萩のひみつ』(セルフガイド)及び指導案

「子どもとともに—近代工芸における鑑賞の試み—」、「事例1 2003～2005年の活動について」／『たんけん！こども工芸館～タカラモノみつけた～東京国立近代美術館工芸館の鑑賞教育プログラム』

作品解説／『工芸館名品集—陶芸』

「現代染織の造形思考」／「芸術学部(テキストイルコース)特別講義」(大阪成蹊大学、2007年1月24日)

◆金子賢治

「三輪壽雪論—『用的立体』と表現」／『萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界』カタログ

「北村昭斎の芸術」／『特別展 北村昭斎—漆の技』カタログ(奈良国立博物館、2006年9月2日)

「松田芸術の源泉と構成部分」／『人間国宝 松田権六の世界展』カタログ

「史的岡部嶺男論叙説」／『青磁を極める—岡部嶺男展』カタログ

「『土から陶へ』の現況」／『「土から陶へ」の現況展』カタログ(ギャラリー・ヴォイス、2006年4月)

「『曜変天目』と新しい表現—林恭助の心境」／『林恭助展』カタログ(中国美術館、北京、2007年3月)

「近代陶芸叙説」／『東洋陶磁学会報』(東洋陶磁学会、2006年11月)

「現代陶芸論—近代工芸の歴史の中で」／『REAR』No.15 (2006年6月リアル制作室)

「『炎』の抑制と開放—現代陶芸の水準」／『紫明』19 (紫明の会、2006年9月)

「内田鋼一の造形思考」／『内田鋼一作品集 2006』(山木美術、2006年6月)

「心の形—田嶋悦子」／『田嶋悦子作品集』(山木美術、2006年6月)

「井上萬二の『一つの道』—現代磁器造形論」／『井上萬二作品集』(2006年10月)

「勝城蒼鳳—竹細工から竹造形へ」／『週刊朝日百科 週刊人間国宝 工芸技術 木竹工②』(朝日新聞社、2006年8月)

「現代陶芸の鑑賞」／『工芸館名品集—陶芸』

◆唐澤昌宏

「土・釉・造形—「鬼萩」「休雪白」「割高台」」／『萩焼の造形美 人間国宝 三輪壽雪の世界』カタログ

作家解説／『ジュエリーの今：変貌のオブジェ』展カタログ

「必然の造形—岡部嶺男の陶芸」／『青磁を極める—岡部嶺男展』カタログ

作品解説／『工芸館名品集—陶芸』

「個人作家としての芽生えと「乾比根会」」／『乾比根会展』カタログ(しづや黒田陶苑、2006年11月)

「『現代陶芸その未来展』に寄せて」／『現代陶芸その未来展』カタログ(株式会社松坂屋、2006年12月31日)

「イギリスでの研修報告—近・現代陶芸における個人作家的活動を軸として」／『現代の眼』558号

「金子潤 Selected Works 1989-2005」／『Rear』No.14 (2006年3月、リアル制作室)

「徹底討論『現代陶芸に未来はあるのか』」、「東海の現代陶芸の系譜」／『Rear』No.15 (2006年6月、リアル制作室)

作品解説「三輪休和《萩四方水指》」／『淡交』(第60巻第7号 通巻740号、淡交社、2006年7月1日)

作品解説「三輪壽雪《鬼萩花冠高台茶碗 銘 命の開花》」／『チャイム銀座』(第27巻第6号 通巻281号、株式会社和光、2006年7月1日)

「土・釉・造形—「鬼萩」「休雪白」「割高台」—《鬼萩割高台茶碗》」／『陶説』(642、社団法人日本陶磁協会、2006年9月1日)

作品解説「岡部嶺男《灰青瓷盤》」／『淡交』(第61巻第2号 通巻748号、淡交社、2007年2月1日)

平成17年度学芸員等在外派遣研修実施報告書「日本と欧米における個人作家的活動とその工芸的概念について」／『文部科学省社会教育課メールマガジン』(文部科学省社会教育課、2007年2月)

作品解説「岡部嶺男《粉青瓷大砵》」／『チャイム銀座』(第28巻第2号 通巻287号、株式会社和光、2007年3月1日)

「イギリスの近・現代陶芸」／「東洋陶磁学会東日本研究会」(東洋陶磁学会、東京国立博物館資料館セミナー室、2006年9月2日)

シンポジウム「『現在のうつわ』とは」／「シンポジウム『現在のうつわ』とは」(多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス、2006年12月17日)

◆木田拓也

「柳宗理のデザインと民藝」／『柳宗理—生活のなかのデザイン—』展カタログ

「内藤春治の《壁面への時計》『人間生活の拡充』をめざして」／『現代の眼』560号

作品解説／『工芸館名品集—陶芸』

「飯塚琅玕『花籃久寿玉』」／『大器プラス』第3号、2006年10月

◆北村仁美

「松田権六書簡—「蓬菜之棚」制作のころ」／『人間国宝 松田権六の世界』展カタログ

「内在化された自己批判のプログラム—『ジュエリーの今』を読み解く」、作家解説／『ジュエリーの今：変貌のオブジェ』展カタログ